

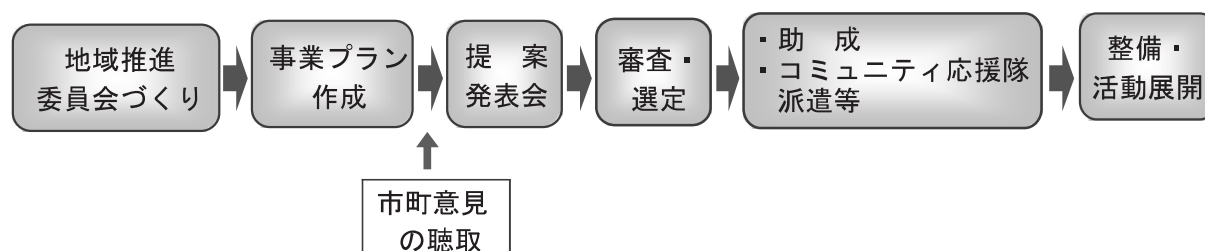
参 考

県民交流広場等に関連する資料

1 県民交流広場事業の概要

事業目的	県民一人ひとりが、身近な地域を舞台に多彩な分野で地域づくり活動に取り組むための活動の場の整備と活動に要する経費を助成することを通じて、県民の参画と協働によるコミュニティの再生をめざす。	
事業財源	第7期法人県民税（法人税割）超過課税収入 〔収入期間：平成17年11月～平成22年10月〕	
選定期間	平成18年度～平成22年度 ※16年度、17年度はモデル事業を実施	
助成要件	助成対象者	自治会、婦人会、老人クラブ、PTA、各種グループ等で構成された住民組織（地域推進委員会）。 ※まちづくり協議会等の既存組織も可
	助成対象事業	コミュニティが取り組む活動の場の整備、及び新たな地域づくり活動の立ち上げや充実
	助成対象地域	小学校区（平成16年5月時点の校区を基準）。 ただし、コミュニティの実情に応じて校区の統合又は分割も可
	助成限度額	1小学校区：整備費1,000万円、活動費300万円を限度額とする。
	特例措置	整備費・活動費間での配分変更（200万円限度）等
	地域選定	県民局ごとに、地域が作成した事業プラン（整備・活動内容、収支計画等）の提案発表会を公開で開催し、専門家、広域地域団体等で構成する広域推進委員会の意見をふまえて、県民局が選定する。 （平成22年度末で新規採択は終了） （審査事項） ・地域の意欲・主体性等の熟度 ・事業プランに関する地域合意 ・事業プランの実現性 ・広場運営及び活動の持続性・自立性
	助成方法	県民局から選定地域に対し、概ね5年間で毎年度必要額を助成

<事業の流れ>



2 県民交流広場事業 実施地区一覧

※実数は地区数、()は校区数を示す H24.4.1時点

県民局	市町名 (小学校 校区数)	16・17 モデル事業	18	19	20	21	22	23	24※	合計
神戸	神戸市 (170)									
	東灘区			本山南、御影南、御影北、六甲アイランド東、六甲アイランド西、福池	渦が森、本庄、本山東、本山西、魚崎北(分)、魚崎南(分)	本山、青木南、住吉				15 (14)
	灘区			西郷(分)、篠原、神田	王子、高羽、成徳、摩耶、六甲、新在家(分)	鶴甲、なぎさ(分)	灘、岩屋			13 (12)
	中央区	港島	二宮(分)、小野柄(分)、吾妻(分)、楠北、雲中、若菜(分)		春日野、神戸諏訪山(分)、神戸下山手(分)、山の手(分)、北野(分)、東川崎(分)	籠池	脇の浜(分)			15 (8)
	兵庫区	熊野、夢野、川池(分)	ひよどり、兵庫大開、菊水、福原・西橋(分)、和田岬、中道(分)	湊山、明親、荒田、浜山、入江(分)、平野		水木				16 (14)
	北区	大原・桂木、有馬	北五葉、広陵、大池、ひよどり台、有野台・東有野台、花山、道場、大沢、筑紫が丘	小部東、唐櫃、南五葉、八多、藤原台、淡河、谷上	泉台、君影、長尾、有野台第2、甲緑	星和台鳴子、鈴蘭台、小部、藍那、箕谷、西山、桜の宮、上淡河、山田、鹿の子台	有野			34 (34)
	長田区	重池	真野	高取山、大日丘、長田	みすが、宮川、池田、若松(分)、野田北部(分)	志里池(分)、北町(分)、真陽、二葉、長楽	丸山、長田庄山(分)、名倉			18 (16)
	須磨区		東落合	友が丘(分)、神の谷、竜が台、松尾、花谷	西須磨、西落合	高倉台、多井畑(分)、菅の台、横尾、北須磨	南須磨、白川台、若草、南落合	妙法寺、東須磨		19 (18)
	垂水区		塩屋	桃山台、霞ヶ丘、高丸、舞子、多聞東	つつじが丘、小東山、上高丸、星陵台、西脇、本多聞、東垂水	多聞台、多聞南	垂水、千代が丘、乙木、福田、名谷、神陵台、塩屋北			22 (22)
	西区			神出、春日台、岩岡第1(分)、岩岡第2(分)、桜が丘、玉津、月が丘	学園西町、学園東町、狩場台、櫻野台、北山、西神南、高津橋、押部谷	竹の台、出合	美賀多台			21 (20)
	計 (170)	3 (3)	7 (7)	50 (44)	53 (47)	25 (23)	32 (31)	3 (3)		173 (158)

実施率93%

阪神南	尼崎市 (44)	立花	尾浜(分)、武庫、園田	中央、西難波(分)、神崎・浜第1(分)、金楽寺(分)、大庄、大庄中央(分)、浜田(分)、今北(分)、西大島(分)、南塚口(分)、武庫第9(分)	小田、下坂部(分)、西長洲(分)、元洪(分)、道意(分)、大庄西(分)、塚口西(分)、塚口本町(分)、堂松南(分)、武庫第2(分)、武庫第4(分)、武庫第6(分)	杭瀬(分)、長洲(分)、武庫川(分)、蓬川(分)、崇徳院(分)、稲葉荘(分)、東大島(分)、堂松北(分)、武庫第10(分)、園田北(分)、若王寺(分)、小中島(分)、戸ノ内(分)	東難波(分)、西難波北・繁栄(2統合)、竹谷(分)、左門殿(分)、東(分)、西立花(分)、富松(分)、立花三反田(分)、生島西(分)、生島(分)、昆陽南(分)、西昆陽(分)、御園(分)、園田南	上坂部(分)			
			1 (1)	3 (2)	1 1 (6.5)	1 2 (7)	1 3 (7)	1 4 (8)	1 (0.5)	55 (32)	
	西宮市 (42)	越木岩、高木、甲子園口、東山台、南甲子園、瓦木・深津(2校区)									
			6 (7)			1 (1)	2 (2)	1 (1)	8 (8)	18 (19)	
芦屋市 (8)	大原、西蔵	潮見	翠ヶ丘	打出(分)、春日(分)、浜風、前田	朝日ヶ丘						
	2 (2)	1 (1)	1 (1)	4 (3)	1 (1)				9 (8)		
	計 (94)	3 (3)	10 (10)	12 (7.5)	17 (11)	16 (10)	15 (9)	9 (8.5)		82 (59)	

実施率63%

県民局	市町名 (小学校 区数)	16・17 モデル事業	18	19	20	21	22	23	24※	合計
阪神北	伊丹市 (17)	稲野、桜台、 天神川、昆陽里	鈴原		神津、池尻、笹原	有岡、花里、緑丘	伊丹、瑞穂			
		4 (4)	1 (1)	3 (3)	3 (3)	2 (2)			13 (13)	
	宝塚市 (24)	長尾台、 西谷、 宝塚第一、 高司、逆瀬台、 小浜、中山台 ニュータウン (2校区)			山本山手、長尾(3校 区)、美座、末成	仁川、西山				
		2 (2)	5 (6)	4 (6)	2 (2)				13 (16)	
	川西市 (16)	緑台・陽明 (2校区)、 川西北	加茂、多田、 北陵	久代	多田東、けやき坂		東谷			
		2 (3)	3 (3)	1 (1)	2 (2)		1 (1)		9 (10)	
	三田市 (20)	けやき台、 高平			藍、あかしあ台、 ゆりのき台	狭間が丘	小野、学園、 弥生が丘			
		2 (2)		3 (3)	1 (1)	3 (3)			9 (9)	
	猪名川町 (7)				大島、楊津	阿古谷、猪名川、 白金、つつじが丘、 松尾台				
				2 (2)	5 (5)				7 (7)	
計 (84)	4 (5)	14 (15)	2 (2)	14 (16)	11 (11)	6 (6)			51 (55)	

実施率 6 5 %

東播磨	明石市 (28)	松が丘、王子、 藤江、大久保 南、魚住	明石、鳥羽、貴崎、 谷八木、二見北	林、沢池、高丘西、 江井島、錦が丘、 花園	朝霧、和坂、大久保、 山手、清水、二見西	人丸、大観、二見、 錦浦	高岡東			
		5 (5)	5 (5)	6 (6)	6 (6)	4 (4)		1 (1)	27 (27)	
	加古川市 (28)	西神吉	別府町(2校区)	志方町西	加古川	米田町	鳩里、志方東	水丘(2校区)、 神野、新神野、 八幡、野口、平 荘、上荘、東神 吉(2校区)	平岡(4校区)、 尾上(3校区)、 志方中	
		1 (1)	1 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	8 (10)	3 (8)	18 (26)
	高砂市 (10)	荒井	曾根			米田(2校区)	高砂		伊保(2校区)	
		1 (1)	1 (1)	1 (1)		1 (2)	1 (1)		1 (2)	5 (7)
	稲美町 (5)	大満南	大満東、加古	天満、母里						
		1 (1)	2 (2)	2 (2)						5 (5)
	播磨町 (5)	播磨	播磨北				蓮池、播磨西(分)、 播磨南			
		1 (1)	1 (1)				3 (2.5)			5 (4.5)
計 (76)	4 (4)	6 (7)	10 (10)	9 (9)	8 (9)	10 (9.5)	8 (10)	5 (11)	60 (69.5)	

実施率 9 1 %

県民局	市町名 (小学校 区数)	16・17 モデル事業	18	19	20	21	22	23	24※	合 計	
北 播 磨	西脇市 (8)	桜丘	芳田	西脇・津万・比延(3校 区)	日野	楠丘	重春・野村				
		1(1)	1(1)	1(3)	1(1)	1(1)	1(2)			6(8)	
	三木市 (17)	口吉川、 細川(2校区)				志染	吉川(4校区)、三木 (3校区)、別所	三木南、緑が丘、 自由が丘(2校区)、 青山			
			2(3)			1(1)	3(8)	4(5)			10(17)
	小野市 (8)	下東条(2 校区)	小野(2校区)	河合、来住	市場、大部						
		1(2)	1(2)	2(2)	2(2)						6(8)
	加西市 (11)	西在田	富田	在田、富合	北条東、宇仁、九会	北条、下里	賀茂				
		1(1)	1(1)	2(2)	3(3)	2(2)	1(1)				10(10)
加東市 (9)		鴨川	米田、福田	上福田、社		東条(2校区)					
		1(1)	2(2)	2(2)		1(2)				6(7)	
多可町 (7)	大和		中北、中南		加美(2校区)	八千代(2校区)					
	1(1)		2(2)		1(2)	1(2)				5(7)	
計 (60)	4 (5)	6 (8)	9 (11)	9 (9)	7 (13)	8 (11)				43 (57)	

実施率95%

中 播 磨	姫路市 (71)	太市、余部 城西、城北、 安室、広畑第 二、大津、勝原 八木、花田、 谷外、豊富	船場、広峰、白鳥、 船津、峰相、高浜、 津田、英賀保、広畑、 南大津、的形、谷内、 山田、香呂、香呂南(2 校区)、旭陽、白浜、 助野	青山、林田・伊勢(2 校区)、八幡、大津茂、 網干・網干西(2校 区)、妻鹿、大塩、 四郷、山之内	城巽、御国野、野里	城東、増位、糸引、 別所、前之庄、菅生、 飾磨、東、砥姫、 家島、坊勢	高岡西、安富 南・北(2校区)				
		2(2)	10(10)	17(18)	9(11)	3(3)	11(11)	2(3)		54(58)	
	神河町 (9)	新田・作 畑、川上	上小田、越知 谷第一・栗賀・ 大山(3校区)	長谷	南小田		寺前				
		2(2)	2(4)	1(1)	1(1)		1(1)				7(9)
	市川町 (59)		瀬加、川辺・ 小畑・甘地(3校 区)		鶴居						
		2(4)		1(1)						3(5)	
福崎町 (4)					福崎	高岡、八千種	田原				
					1(1)	2(2)	1(1)			4(4)	
計 (89)	4 (4)	14 (18)	18 (19)	11 (13)	4 (4)	14 (14)	3 (4)			68 (76)	

実施率85%

県民局	市町名 (小学校 区数)	16・17 モデル事業	18	19	20	21	22	23	24※	合 計
西播磨	相生市 (7)	相生 1 (1)		青葉台、双葉、旭(分) 3 (3)	矢野、陸(分) 2 (1)	若狹野 1 (1)		那波 1 (1)		8 (7)
	たつの市 (18)	香島、半田 2 (2)	小宅、揖西東、 神岡、新宮、 室津 5 (5)	(嘗田) 1 (1)	河内 1 (1)					9 (9)
	赤穂市 (10)		坂越、原 2 (2)	有年、西部 2 (2)	尾崎 1 (1)	高雄 1 (1)				6 (6)
	宍粟市 (20)	鷹巣 1 (1)	神野、篤沢(2 校区)、土方、 下三方 4 (5)	繁盛、波賀 2 (2)	城下、戸原、道谷 3 (3)			河東、野原 2 (2)		12 (13)
	太子町 (4)			龍田 1 (1)			斑鳩 1 (1)			2 (2)
	上郡町 (7)		高田 1 (1)		赤松 1 (1)		上郡、山野里、 船坂、梨ヶ原 4 (4)			6 (6)
	佐用町 (10)				長谷(分)、石井(分)、 海内(分)、江川、 中安、徳久、三河 7 (4)	霧山、上月、久崎、 三日月、平福(分) 5 (5)		佐用 1 (1)		13 (10)
	計 (76)	4 (4)	12 (13)	9 (9)	15 (11)	7 (7)	5 (5)	4 (4)		56 (53)

実施率 7 0 %

但馬	豊岡市 (30)	奈佐 1 (1)	中筋、合橋、 福住、寺坂、 城崎 5 (5)	港(2校区)、市街地、 田鶴野、弘道、 高橋、清滝 6 (7)	神美、三方、八代、 小坂 4 (4)	三江、中、竹野南、 日高(2校区)、資母 5 (6)	八条、五庄、新田、 竹野、国府、 西気、小野 7 (7)			28 (30)
	養父市 (15)	関宮 1 (1)	三谷、浅野、 小佐 3 (3)	伊佐 1 (1)	高柳、広谷、南谷 3 (3)	八鹿 1 (1)	宿南、養父、建屋、 口大屋、西谷 5 (5)	大屋 1 (1)		15 (15)
	朝来市 (13)			与布土、東河 2 (2)	糸井、大蔵、竹田、 朝来(2校区)、生野 (2校区) 5 (7)	和田山、梁瀬、 栗鹿、奥銀谷 4 (4)				11 (13)
	香美町 (11)		小代 1 (1)	長井 1 (1)	香任、奥佐津、余部 (2校区)、村岡 4 (5)	佐津、兎塚、射添 3 (3)	柴山 1 (1)			10 (11)
	新温泉町 (10)	久斗山 1 (1)	春來、八田、 浜坂南、浜坂西 4 (4)	照來、熊谷 2 (2)	奥八田 1 (1)			温泉、浜坂北 2 (2)		10 (10)
	計 (79)	3 (3)	13 (13)	12 (13)	17 (20)	13 (14)	13 (13)	3 (3)		74 (79)

実施率 1 0 0 %

県民局	市町名 (小学校 区数)	16・17 モデル事業	18	19	20	21	22	23	24※	合 計
丹波	篠山市 (19)	大寺、大山 西紀北	日置、雲部	城南、古市、西紀中	福住、岡野、村雲、 畑、西紀南	篠山、八上、城北、 後川、味間、今田				
		2 (2)	1 (1)	2 (2)	3 (3)	5 (5)	6 (6)			19 (19)
	丹波市 (25)	黒井、神楽 遠阪、吉見、 鴨庄、美和	久下、前山	佐治、上久下、竹田	中央、葛野、北、東	新井、船城	和田、春日部、 大路、国領、柏 原、 沼貴、芦田、小 川			
	2 (2)	4 (4)	2 (2)	3 (3)	4 (4)	2 (2)	8 (8)			25 (25)
	計 (44)	4 (4)	5 (5)	4 (4)	6 (6)	9 (9)	8 (8)	8 (8)		44 (44)

実施率 100%

淡路	洲本市 (13)	中川原、都志、 広石、鮎原	塚	安平、第3小学校	大野、鳥飼	加茂				
		4 (4)	1 (1)	2 (2)	2 (2)	1 (1)				10 (10)
	南あわじ市 (20)	阿方、 伊加利	倭文	松帆、神代、潮美台 (分)	市、賀集、津井	北阿万(分)	沼島、榎列、八木、 西淡志知	福良	湊	
	2 (2)	1 (1)	3 (2.5)	3 (3)	1 (0.5)	4 (4)	1 (1)	1 (1)		16 (15)
淡路市 (24)	江井	多賀、塩田、 佐野	釜口、志筑、生穂、 長沢、山田	仁井、中田、大町		生田、郡家、柳沢	育波、富島、岩 屋、仮屋	野島		
	1 (1)	3 (3)	5 (5)	3 (3)		3 (3)	4 (4)	1 (1)		20 (20)
	計 (57)	3 (3)	8 (8)	9 (8.5)	8 (8)	3 (2.5)	8 (8)	5 (5)	2 (2)	46 (45)

実施率 79%

全 県	16・17 モデル事業	18	19	20	21	22	23	24	合計
合計 (829)	36 (38)	95 (104)	135 (128)	159 (150)	103 (103)	119 (115)	43 (45)	7 (13)	697 (696)

実施率 84%

※「校区数」は、校区の統合や分割を含む実施地区を小学校区数に換算したもの。特に分割の場合、助成配分等から校区数を換算している。

※(分)は校区を分割している地域を示す。

※(○統合)は地区の統合を、(○校区)は校区の統合を示す。

※24実施地区については、H23年度に事業計画承認済み、H24年度事業着手予定地区を示す。

3 県民交流広場事業に関する記事 (H23年4月以降)

(※県民生活課へ情報提供のあったもの等の中から抜粋)

○新聞記事等

番号	日付	新聞	県民局	概要
1	23.4.20	神戸新聞	丹波	⑳丹波市新井地区 取組の紹介 シイタケ作り 新旧住民交流
2	23.6.9	神戸新聞	淡路	㉑淡路市生田地区 取組の紹介 住民が開設そばカフェ 食後にデザートもいかが
3	23.6.30	丹波新聞	丹波	㉒篠山市福住地区 取組の紹介 “若手”が初の交流会 課題や連携話し合う
4	23.8.8	神戸新聞	丹波	⑳丹波市鴨庄地区 取組の紹介 地域の足 有志運行 暮らしつなぐ
5	23.9.8	丹波新聞	丹波	㉑篠山市八上地区 取組の紹介 篠山・八上の歴史学んで 18日からふるさと塾
6	23.9.22	朝日新聞	東播磨	㉑高砂市高砂地区 取組の紹介 「古民家 交流の場に」高砂で再生 あす開所式
7	23.9.29	朝日新聞	丹波	㉒篠山市畑地区 取組の紹介 手ぬぐい台紙にスタンプラリー
8	23.11.17	読売新聞	西播磨	㉑佐用町江川地区 取組の紹介 「佐用に招福 陰陽師再び」19日 第2回コスプレ催し
9	23.11.24	神戸新聞	東播磨	㉑明石市二見地区 取組の紹介 「いい(11月)二見(23日)の日」絆深めようと初の催し
10	23.11.28	神戸新聞	本庁	地域コミュニティ・フェスティバル2011 高齢者支援や地域資源活用 まちの活性化 活動紹介
11	23.12.14	神戸新聞	神戸	㉑神戸市東灘区本庄地区 取組の紹介 「忘れない」心伝えたい」神戸で被災 音楽療法士ら演奏会
12	24.2.6	産経新聞	但馬	㉑香美町長井地区 取組の紹介 「雪像作りなど楽しむ」香美・長井地区で「ふれあい雪まつり」
13	24.2.17	神戸新聞	東播磨	㉑明石市人丸地区 取組の紹介 人丸小校区にマスコットキャラ 「まるちゃん」お披露目
14	24.2.28	神戸新聞	丹波	㉑丹波市東地区 取組の紹介 「分水界」航空写真で紹介」看板設置 観光客にPR

① 丹波市新井地区

神戸新聞 (H23.4.20)

かつて県内有数のシイタケの産地だった丹波市柏原町新井地区。ピーク時は約20戸の農家が約30万本の原木を栽培していたが、現在はわずか2戸にとどまる。一方、地区内には新しい住宅地が増え、新旧住民の交

流が少ないのも悩みの種。こうした課題を解決しようと、新井自治協議会が、シイタケ栽培を生かした住民交流促進事業に乗り出した。地区に伝わる栽培技術の継承も目指し、一石二鳥を狙う。(阿部江利)

柏原・新井地区 かつての特産を活用

同地区では1954年、3人の生産者がシイタケ栽培を始め、地域ぐるみで特産化に取り組んだ。生産量は60年代にピークとなり、年210万本を出荷した。しかし、輸入品の増加などによる競争力の低下や高齢化で栽培農家は減り続けている。

一方で、70年代以降、地区内に工業団地や住宅が増え、農家以外の若い世代が増えた。最近では新住民の比率が半分にあり、古くからの住民との交流が課題になっている。

そこで、同協議会は2010年度から、地区内の遊休農地や里山で新住民らに農作業を体験してもらう「新井の郷交流事業」を始めた。今年3月初めには交流の場として利用したり、農作業具を保管したりする施設も完成。今後、地元農家が講師役を務め、シイタケ菌の植え付け、黒豆やサツマイモ栽培などの講習を始める。

新旧住民の交流が軌道に乗れば、阪神間など都市部

農作業体験事業始める 技術継承と一石二鳥狙う



シイタケなどを生かした交流事業を始める新井自治協議会の田原邦夫事務局長(右)ら＝丹波市柏原町田路

の住民にも輪を広げる予定。同協議会の田原邦夫事務局長(右)は「新住民に地域になじんでもう一つとでも、誰もが楽しく暮らせる地域にしたい」と意気込んでいる。

シイタケ作り

新旧住民交流

淡路市

淡路市生田地域の特産そばの製造・販売拠点「そばカフェ生田村」の新メニューとして「山羊ミルクのケーキ」「そば湯ゼリー」が登場した。ケーキはミルクの味が濃厚で、ゼリーはほんのりと甘いのが特徴。関係者は「そばを食べた後のデザートとして楽しんでほしい」と話す。

濃厚な山羊ミルクのケーキ
甘さほんのりそば湯ゼリー

住民が開設 そばカフェ

食後にデザートもいかが

生田地域活性化協議会が保育所跡を改装し、今春開設。地域で生産するそばを売り出したところ観光客に好評で「家族連れにも来てほしい」と子どもも楽しめるメニューとして考案した。施設内で飼育するヤギのミルクに目を付けた。

ケーキ(200円)はヤギの乳からチーズをこしらえ、オーブンでふんわりと焼き上げる。ミルクの味とともに、こんがりとした香ばしさが口中に広がる。ゼリー(150円)はそば湯とゼラチンを混ぜて下地を製造。ソバの花から作

った蜂蜜と黒蜜を混ぜ、ケーキの上にかけて食べる。と、控えめな甘さが楽しめる。カフェで開いた商品化に向けた研修会では、試作品を姫路市の料理研究家に味見してもらったところ「ケーキはしっかりとった食感が

いい。ゼリーも食べやすくおいしい。すぐに商品化できる」とお墨付きをもらった。同協議会の近藤千廣彦会長は「多くの人に喜んでもらうため、今後もいろんなメニューを考えたい」と話している。

(津名支局・西尾和尙)



新たなメニューとして売り出された「山羊ミルクのケーキ」(右)と「そば湯ゼリー」(左) 淡路市生田村

“若手”が初の交流会

まちづくり
協議会

課題や連携策話し合う

篠山市内のまちづくり協議会の若手メンバーが25日、福住地区の拠点施設「さんば家ひぐち」(福住)で初めての交流会を開いた。地元料理で会食しながら、さんば家さんにそれぞれの課題を出し合ったり、連携策を模索したりした。今後、各拠点施設で順番に開くこととしている。(坂井謙介)



鍋を囲みながら、課題や連携策についてさんば家に話し合う市内のまちづくり協議会のメンバーら。福住のさんば家ひぐちで。

「夏祭りで他地区を協力」

きつかけは、今田まちづくり協議会事務局長の岩本徹さん(36)が、昨年度市内各地で行われた「田んぼアート」を開いた際に、篠山市民プラザを通して、他のまちづくり協議会のメンバーと会うことになり、定期的に話し合いの場を持つことを企画した。

交流会の名称は「まち協若手会TTP」。TTPは、「地域を越えてトークする中でどんなことを何かがつかめるかも」の意味。互いの良いところを共有しながら、連携して篠山を盛り上げる場にする。名称は若手会だが、年齢が若い意味ではなく、「気持ちの若い」メンバーが参加した。

5地区の16人が参加した交流会では、まず、福住まちづくり協議会の部会「2030プロジェクト」の関口和史代表がさんば家ひぐちの歴史や改修箇所などを説明した後、福住の地産料理を食べながら意見交換した。▽地区の祭りで他の協議会の店や名産を出す▽地区の祭りを他地区へPRする▽などの夏祭りに向けた活性化策などの話が出た。

岩本代表は「他の地区の拠点施設を見学することもなかったら、今までの活動は篠山を良くしようとすべく同じ思いの人が集まり、おもしろい意見を出し合ったり、今後の活動のヒントが生まれれば」と話している。

次回は9月に日置地区で行う。

老いて共に

有志運行暮らしつつなく

っていない。約8年前、コミュニティバスの運行が始まった。地区内唯一のスーパーが閉店すると、地区外にも運行範囲を広げた。

月、水、金の午前中、60代の男性有志がハンドルを握り、200円で地区外のスーパーや診療所へお年寄りを送り届ける。自家用車などの交通手段がない高齢者にとって、なくてはならない地域の足だ。

南ひさのさん(83)がバスを使うようになったのは80歳になる直前、ミニバイクに乗るのをやめてからだ。夫を亡くして以来、約9年間1人で暮らしている。隣の家は普段無人で、家人は週末だけ帰ってくる。道を隔てた自宅の前は山林。寂しくないかってよく聞かれ

るんやけど、もう慣れっこと笑う。子ども3人、孫6人に加え、ひ孫4人にも恵まれた。ミニバイクを手放してから市内には妹がおり、連絡を

取り合わない日はない。遊びにも来てくれるし、一緒に出掛けもする。それでも、気ままに外出し、人と会う

機会はずいぶん減った。だが、バスに乗るようになったからは顔見知りが増えた。「バスで会った奥さん、どないしてってんやろう思

ってね」。楽しみが一つできたと感じる。

◆ 停留所に止まるたびに、定員8人のバスが埋まっていく。「畑の方はどう?」「草刈りがもう大変で。利用者多くは独居の高齢女性。会話は途切れない。南さんも女性たちに交じって、世間話に花を咲かせる。バスは買い物を終えた女性たちをスーパーで乗せ、停留所で順次降ろしてゆく。「それじゃ、私はここで」また今度、お元気で。

生活に不可欠な「ミニ」ドライバーの一人、狹野忠志さん(66)が運転日誌を記しながらつぶやいた。もし重大な事故を起こしたらバスの存続が危しくなる。重圧から解放され、ほっと一息。「バスがあれば」そ生活が成り立っている。そんな声を聞けば、やめるわけにいきませんよ」

地域の足



▲生活に不可欠な「ミニ」ドライバー、降車後、女性はずり去るバスを見送った。丹波市市島町南

篠山・八上の歴史学んで

まちづくり協 18日からふるさと塾



江戸時代に旅人らが立ち寄ったという「重兵衛茶屋」(篠山市八上内で)

篠山市の八上校区まちづくり協議会は、住民らに地元歴史を学んでもらおうと、「八上ふるさと塾」を開講する。初回は「篠山で活躍した郷土史家たち」をテーマとし、18日午後1時30分～3時30分に篠山市糯ヶ坪の高城会館で開く。協議会は「校区内外を問わず参加を」と呼びかけている。

八上小校区は戦国時代の山城で国史跡・八上城跡の麓に広がる。篠山城築城に先立ち、室町～戦国時代に波多野氏が居城とした八上城跡をはじめ、城下町街道、江戸時代に大名の参勤交代や旅人が休憩や宿泊に使っ

たという建物「重兵衛茶屋」(篠山市指定文化財)など旧山陰街道の町並みが残っている。

今は8803世帯2335人(7月末現在)が暮らす。2006年に開いた地区の催しで、「嫁いで10年だが、八上のごとはよくわからない」という声があったことなどから、歴史を学ぶ機会を設けることにした。

年4回程度の開催を予定。初回は八上を知る上で篠山地域の郷土史研究の流れをつかもうと、篠山盆地の歴史を探究した郷土史家・奥田楽々斉さん(188

251960)と多紀文化顕彰会などを取り上げる。講師は協議会の池田正男会長(64)。初回の受講には資料代100円がいる。

池田会長は「みんなが勉強できるような内容にしたい。気軽に参加を」と話している。問い合わせは池田会長(079-552-4857)へ。

⑥ 高砂市高砂地区

朝日新聞 播磨版 (H23.9.22)

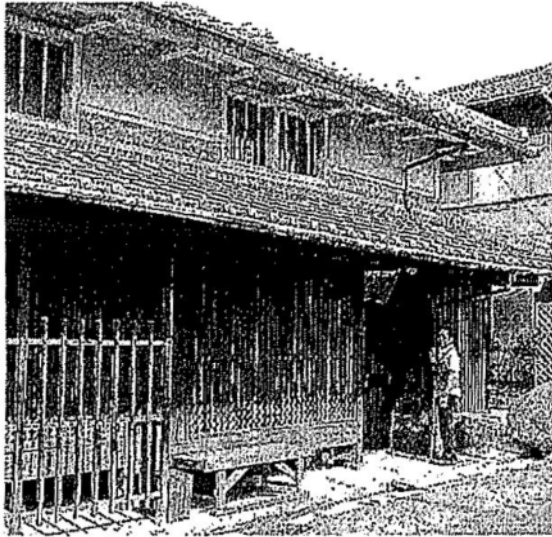
古民家 交流の場に

高砂で再生あす開所式

近世から近代の港町の風情が残る高砂市高砂町で、明治時代の古民家が街並み保存の拠点としてよみがえり、28日に開所式がある。住民らでつくる「高砂地区まちづくり協議会」が、県民交流広場事業の助成を受けて改修を終え、地域の交

流の場として活用する。

この民家は江戸時代から昭和初期まで肥料問屋だった花井家の住宅兼事務所。虫籠窓や格子など当時の建築様式が伝わる。2階建て延べ250平方メートルの住宅と土蔵などが残る。土蔵の北側に昔は堀があり、船から直



交流広場として改修され、公開される花井家住宅＝高砂市高砂町高瀬町

接荷揚げしていたという。約20年前から空き家になっていたが、阪神大震災で土蔵が傾くなどの被害が出た。東京に住む所有者から「地元の役に立てば」と無償提供の話があり、住民らは県の助成を受けるために協議会を発足させた。約1300万円で耐震化や内装工事を実施した。

古民家は「県民交流広場高砂来て民家」と名付けられ、同協議会が運営。「高砂染」など伝統技術継承の場やものづくりの工房のほか、展示場や集会場などにも利用してもらう。工房として常時利用する人に管理してもらい、見学者の受け入れも検討している。協議会の浜田隆会長は「街並みなど古いものを活用し、もう一度、元気な高砂にしたい」と話す。

開所式は午後1時半から。大正琴の演奏や神戸市の画家による水彩画展「高砂を描く」もある。

(平賀正弘)

⑦ 篠山市畑地区
朝日新聞 (H23.9.29)

手ぬぐい台紙に

篠山で農業実習の神大生ら

スタンプラリー

篠山市畑地区で農業実習をしている神戸大学生たちが10月1、2日、同市畑宮の佐佐婆神社周辺である例祭「畑まつり」を盛り上げようと、手ぬぐいを用紙に

したスタンプラリーを企画している。

祭は400年近い歴史があり、山車巡行や流鏑馬神事などで家内安全、無病息災、五穀豊穡を祈願する。

初日は午後6時から笛や太鼓を鳴らす子どもを乗せた山車10基と太鼓みこし7基が一斉に宮入し、約1時間半にわたって練り込みを繰り広げる。翌2日も山車が出て、流鏑馬神事がある。

同地区では約50人の大学生が、「農家の人たちが先生」という授業で、特産の黒豆栽培の手伝いや草取りをしている。学生たちは「労働力でお返しするだけでは足りない」と、有志34

スタンプラリーを企画した神戸大学生たち＝篠山市役所



人がスタンプラリーの企画を思いついた。

ラリーは参加無料。1日午後2時、2日は午前11時

から額利のみたけ会館で受け付け。受験の祈願を受けた手ぬぐいを受け取る。先着で両日で計77枚。佐佐婆神社から約1kmの沿道に5つあるスタンプ台を回り、オリジナルの手ぬぐいを作ってもらおう。学生たちは「受験生は、この手ぬぐいを鉢巻きにして、がんばってほしい」と話している。問い合わせは佐佐婆神社(079・552・2418)へ。(土井敦夫)

⑧ 佐用町江川地区

読売新聞 (H23.11.17)

佐用に招福 陰陽師再び

2009年8月の豪雨被害を受けた佐用町北西部の江川地区で19日、鎌倉時代の陰陽師にふんずける「第2回陰陽師の里コスプレイベント」(魏彦新羅姫歴史文化センター)が開かれる。同地区は、平安時代の陰陽師として知られる「鳥辺道綱」と密告晴明ゆかりの地とされ、主催する江川地域づくり協議会が、「コスプレ入会でもおもしろい。まぎの海賊の弾みをつけたい」としている。(高橋真生)



8月の第1回大会で、道綱塚をバックに「入会」の衣装を着た参加者(佐用町協議会)

晴明ゆかりの江川地区 19日 第2回コスプレ催し

中世播磨國の地誌「密指記」によると、平安時代、晴明は道綱が関白・藤原道長を呪詛しようとしたのをいらいらさせたを罵り、播磨國へと追放。同地区の「鏡飛橋」は、人が射いた矢を飛び交わせ、近頃の染流である「おつけ場」では晴明が道綱の首を洗ったことからその名がつけられたと語られている。

同地区には、人を祭る仏塔の一種「宝篋印塔」があり、この大木谷には1797年に建てられた「道綱塚」(高さ約2財)、谷を挟んだ甲大木谷には室町初期に作られたとされる町指定文化財「晴明塚」(面积约1・2財)が位置。岡山や橋島原などにも塚はあるが、両者の宝篋印塔が相対するよう建てられているのは全国でも珍しいという。

同地区は「昨年の水害で家屋24棟が全半壊・床上浸水するなど被害を受け、過疎化・少子高齢化が進んでいる」となり

住民や町でつくる同協議会が、同地区の活性化策として、陰陽師やアニメキャラクターの衣装に身を包むコスプレのイベントを催す。3月の第1回大会では東京や大阪などから15人が晴明などの衣装を着て参加し、約1500人の見客客でにぎわった。

第2回イベントは19日午前9時、同町協議会の町江川地区文化センターで受け付け開始。20人前後に分かれ、巡回バスで道綱塚や晴明塚などを巡って参拝し、コスプレ撮影会を開く。塚には護摩をきやかがり火などが投げられ、雰囲気盛り上げる。

既に補元やたつの市などの計10人から、コスプレの事前申し込みがあった。同協議会の担当者は「2人の依頼だけじゃなく、朝田など自然の美しさも堪能してもらえれば」と話している。

当日参加も受け付けており、参加費は1500円(バス代など)。「コスプレをする場合は各自で衣装を用意する。同イベントでは地元特産品を販売するイベントも行い、問い合わせや事前申し込みは同協議会事務局(07840・82・0066)へ。

「水害復興の弾みに」

⑨ 明石市二見地区

神戸新聞 明石版 (H23.11.24)



元気な踊りが披露されると会場からはアンコールの声が上がった＝二見町東二見

「いい(11)二見(23)の日」に住民同士が絆を深めようと呼び掛ける二見小学校区コミュニティ推進協議会(阪本正和会長)が23日、初の交流イベントを二見小学校などで開いた。金魚すくいや段ボールの迷路などが用意され、親子はもちろん、大人同士もつながりを深めていた。(小林良多)

11月 23日 いい二見の日
絆深めようと初の催し

「いい二見の日」を定めたアイデアは、同協議会がまじりの一環として生み出した。県の県民交流広場事業の助成を受けた昨年からの住民が話し合い、制定を祝う催しを準備してきた。

この日はまず式典があり、公募して選んだロゴマークを発表した。続いて地元の保育所、幼稚園、小学校の園児や児童が唱歌やハンドベルの演奏などを披露。約200人が流行曲に合わせて一様に踊ると会場には笑顔があふれた。ダンスで盛り上げた見小5年の福本里緒さん(11)は「緊張よりの楽しさが上回った。もう一回やりたいくらい」と声を弾ませた。

会場ではバザーやタコの天ぷら販売などもあり大勢の人でにぎわった。2人の娘と訪れた団体職員(男性36)は「横のつながりが強いのはいいこと。こういう場があれば普段会えない人とも仲良くなれる」と話していた。

⑩ 地域コミュニティ・フェスティバル2011

神戸新聞 (H23.11.28)



少子高齢化対策について意見を交わしたフォーラム＝県公館

地域の活性化に取り組む県内の団体が交流を深める「地域コミュニティ・フェスティバル」が27日、神戸市中央区下山手通4の県公館で開かれた。神戸や淡路、朝来、姫路市の団体によるフォーラムがあり、地域の少子高齢化対策や地域資源の活用などについて意見を交わした。

住民による地域コミュニティ活動に県が助成する「県民交流広場事業」の参加団体が交流。約500人が参加した。

高齢者支援や地域資源活用
まちの活性化活動紹介
県内4団体
神戸で集い

フォーラムには、神戸市垂水区多聞台地区と姫路市の林田・伊勢地区、淡路市生田地区、朝来市奥銀谷地区のメンバーが登場。それぞれの地区の取り組みを紹介したほか課題を話し合った。

65歳以上の高齢化率が30%を超す多聞台地区は、多聞合ふれあいのまちづくり協議会の高橋良雄さん(73)が月2回朝市を紹介。「高齢者の外出を促すため企画した。朝市の会場にふれあい喫茶を聞くと、お年寄りが集まるようになった」と語った。奥銀谷地域自治協議会の渡辺一雄さん(78)も高齢者の買い物支援について発表。買物の手助けのほか、安否確認にもなる」と説明した。

生田地区は、そばの製造・販売で地域の活性化を目指す取り組みを、林田・伊勢地区は地元の歴史的建造物を生かした活動などをそれぞれ発表した。(紺野大樹)

⑪ 神戸市東灘区本庄地区

神戸新聞 (H23.12.14)

「忘れない」心伝えたい

神戸で被災 音楽療法士ら演奏会

14日・東灘小

阪神・淡路大震災で被災した女性2人が14日、東灘小学校で震災犠牲者を追悼するコンサート「絆の輪を広めよう」に出演する。震災のショックから音楽で癒やされ、少しずつ日常を取り戻していった家族や被災者を知る2人は「まだ震災を受け入れられない人も多

いと思う。少しでも前を向くきっかけにもらえれば」と話している。兵庫県音楽療法士の江副恵美さん(47)＝東灘区深江本町＝と久保里奈さん(35)＝同区本山中町。2人はピアノ教室を開く傍ら、音楽を通して高齢者や障害のある子どもたちへの心のケアなどに取り組む。コンサートを主催する「本庄ふれあいのまちづくり協議会」などから依頼された。

江副さんは震災で東灘区の自宅が全壊。夫と当時1歳だった長女と、加古川市へ避難した。震災のショックから、長女は歩かなくなり、会話もできなくなった。何とかしようと近くの音楽教室へ通わせると、歌を口ずさむようになり、徐々に明るさを取り戻した。音楽の力を目の当たりにしたという。2年後に東灘区で自宅を再建し、音楽療法士になった。

久保さんは西区で被災。自宅の損壊は免れた



「コンサートに向け、打ち合わせをする江副恵美さん(右)と久保里奈さん」東灘区本庄町2

伝える
震災17年

が、大学受験を控えた大阪の親類宅へ避難した。結婚を機に東灘区へ移ってからは、震災の話題をよく聞くようになった。東日本大震災の被災者には「頑張れとは簡単に言えない。見守り続けることしかできない」という。コンサートでは江副さんがピアノ、久保さんがハープを演奏する。2人は「震災を考える日になれば、「忘れない」というメッセージを伝えたい」と話している。

当日も受け付ける。問い合わせは、本庄ふれあいのまちづくり協議会の佐野さん ☎090・3466・2519 (斉藤絵美)

入場無料。午後1時半～3時。定員400人。



ふれあい雪まつりで雪像を作る参加者ら—香美町

香美町香住区の矢田川交
流センターで5日、「長井
の郷 ふれあい雪まつり」
が開かれ、地元家族など
のグループが雪像作りなど
を楽しんだ。

ふれあい雪まつりは、子
供たちが冬場は家に閉じこ
もりがちになることから、
戸外で家族や友人らとふれ
あう機会を作ろうと、長井
地区のさまざまな団体の役

雪像作りなど楽しむ

香美・長井地区で「ふれあい雪まつり」

員らで組織する活性化推進
協議会の実行委員会がこの
時期に開いており、今年で
4回目となった。

まつりでは、降り積もつた雪を使って雪像作りが行われ、家族や友人らのグループが子のカメやアニメのキャラクター、農家と雪だるまタワーなどを作った。絵具で色づけしたカラフル雪像も並んだ。また雪玉の当てや宝探しなども行われ、子供たちも冬一日を楽しんでいた。

⑬ 明石市人丸地区

神戸新聞 明石版 (H24.2.17)

人丸小校区にマスコットキャラ

「まろちゃん」お披露目

明石高美術科
大谷さん作品

地域の盛り上げ役に

明石ゆかりの歌人、柿
本人麻呂をモチーフにし
た人丸小学校区のマスコ
ットキャラクター「まろ
ちゃん」のお披露目式が

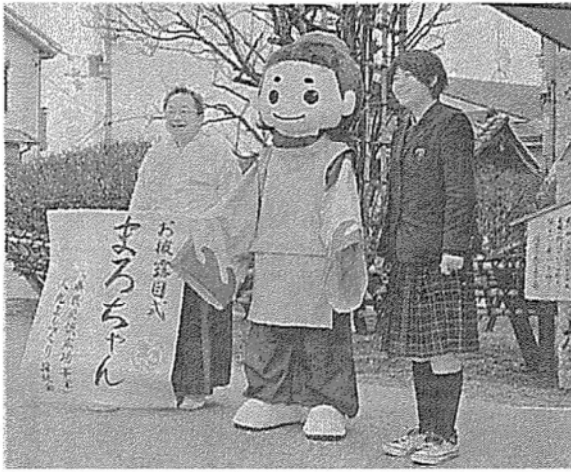
で「シンボルがほしい」
との意見が寄せられたこ
とから約2年がかりで制
作した。

16日、柿本神社(人丸町)
であった。びよんとはね
た髪の上に、青い烏帽子
をちょこんとのせた着く
象に実施したデモンゲー

デザインは、同会の加
盟団体でもある明石高校
の美術科の生徒が担当し

た。寄せられた原画13点
の中から、審査の結果、
2年生の大谷心さん(17)
の作品を採用。明石の海
を表現した波線様の平安
装束に身を包み、優しく
つづらな腫が特徴で、趣
味は「和歌を詠むこと」、
好きな食べ物は「いかな
「のくき煮」だという。

予定。大谷さんは「動い
ている様子がとてもかわ
いい。みんなに愛される
存在になってほしい」と
話していた。(中務麻子)



人丸小学校区のマスコット「まろちゃん」を囲んで
笑顔の大谷心さん(右)ら 柿本神社

⑭ 丹波市東地区

神戸新聞(H24.2.28)

「分水界」航空写真で紹介

丹波市水上町の生郷自治振興会(里尚会長)が、本州で最も低い中央分水界「水分け」の境界線を紹介する看板を、同市水上町石生の生郷交流会館敷地内に設置した。里会長は「初めて丹波市を訪れた人でも一目で水分けが理解できる。街の人に土地の面白さをPRしたい」と話している。

看板は縦1段、横2段で、県民交流広場事業の一環として製作した。降った雨が、日本海側と太平洋側に分かれて流れる中央分水界の位置を分かりやすく紹介しようと、昨年11月に撮影した航空写真を使い、赤線で分水界の位置を示した。

看板の後方には、分水界が通る向山連山の山並みが一望できる。最寄りのはりま石生駅にはハイキング客らが訪れるといい、里会長は「交流会館に立ち寄って水分けについて

生郷自治振興会 看板設置 観光客にPR

学んでほい」と呼び掛けて
いる。
(阿部江利)



向山連山を眺めながら水
分けが学べる看板「生郷
交流会館

4 その他

◆ 県民交流広場事業の問い合わせ先

地 域	問い合わせ先	電話番号
神 戸	神戸県民局 県民室 県民福祉課	078-361-8597
阪神南	阪神南県民局 県民協働室 県民課	06-6481-4397
阪神北	阪神北県民局 県民協働室 県民課	0797-83-3136
東播磨	東播磨県民局 県民室 県民課	079-421-9093
北播磨	北播磨県民局 県民生活室 県民課	0795-42-9513
中播磨	中播磨県民局 県民室 県民課	079-281-9196
西播磨	西播磨県民局 県民室 県民協働課	0791-58-2100
但 馬	但馬県民局 県民協働室 県民運動課	0796-26-3645
丹 波	丹波県民局 県民室 県民課 (丹波の森公苑 活動支援部)	0795-72-5168
淡 路	淡路県民局 県民生活室 県民課	0799-26-2043

◆ 県民交流広場公式ホームページ <http://www.hyogo.kouryu-hiroba.jp/>

◆ 「ひよこむ」とは・・・[URL <http://hyocom.jp/>]



単に情報を発信するだけでなく、参加者が互いに友人を紹介しあって新たなネットワークを広げたり、友人相互の関係を深めたりする新しい形のインターネットサービスである兵庫県版SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）。平成18年、NPOとの連携のもと開設され、県民交流広場を中心に地域づくりを実践する多くの県民に利用されています。

現在、「ひよこむ」には、「はばたけ県民交流広場」コミュニティが設置され、広場関係者だけでなく、多くの「ひよこむ」参加者に閲覧されています。各広場の情報発信などにご活用ください。

◆ ひよこむ活用マニュアル http://hyocom.jp/hyocom_manual/



兵庫県企画県民部県民文化局県民生活課

平成 2 4 年 7 月

〒650-8567

神戸市中央区下山手通5-10-1

TEL : (078) 362-4000

FAX : (078) 362-3908

E-mail : hiroba_seikatsusouzouka@pref.hyogo.lg.jp

